

枚数	九一	現代の国語 言語文化	答えはすべて解答用紙に書きなさい。
----	----	---------------	-------------------

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

くーちゃんから全人類へ

鈴木俊貴

著作権承諾上の理由により、問題文の掲載はしていません。

二〇二六(令和八)年度 沖縄女子短期大学 一般選抜(C日程)(問題用紙)

枚数	九十二	現代の国語 言語文化	答えはすべて解答用紙に書きなさい。
----	-----	---------------	-------------------

著作権承諾上の理由により、問題文の掲載はしていません。

枚数

九一三

現代の国語
言語文化

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

第一問

問1 傍線部⑦～⑩の漢字の読みがなを書きなさい。

- ⑦ 意思疎通 ⑧ 翻訳機 ⑨ 観察
⑩ 尊重 ⑪ 嗅覚 ⑫ 備わる

問2

空欄 A E にあてはまる語句を、次の

1～5の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(重複選択不可)

- 1 このように 2 しかし
3 たしかに 4 たとえば
5 それでも

問3

傍線部①～⑥の語句を漢字で書きなさい。

- ① フトン ② ソクザ
③ ヘンカン ④ ハンベツ
⑤ ハイリョ ⑥ マドワス

問6

本文を読んで、筆者の考えに最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ぼくとくーちゃんが意思疎通ができるのは、
ぼくの十八年におよぶ野鳥の研究の成果で
ある。
イ ぼくとくーちゃんが意思疎通ができるのは、
大語を翻訳できる力を身に着けたからで
ある。
ウ 言語は動物と人間の関係だけでなく、人間
同士の意思疎通を図るうえで最も大切な
ツールである。
エ 意思疎通を図るには言語に頼り過ぎず、
相手をよく観察し、意図を読み取ろうと
する姿勢が大切である。
オ ぼくとくーちゃんは、感じ方や物事の捉え
方が似てきたから互いの言語が理解できる
のである。

問4

傍線部①～④の慣用句の意味として最も

ふさわしいものを次の1～5の中から一つ選び、
番号で答えなさい。

- ①手に取るように
1 少しは
2 はつきりと
3 なんとなく
4 近づいたら
5 多く

②的を射ていない

- 1 できるはずがない
2 時代に合っていない
3 肝心な点をとらえていない
4 気持ちが一致していない
5 気持ちがまだ固まっている

問5

波線部Xに「僕とくーちゃんの関係は、シジュウカラと
ヤマガラの関係に似ている。」とありますが、筆者は
シジュウカラとヤマガラの関係のどのような点が似て
いると述べていますか。

本文の言葉を抜き出し答えなさい。

枚 数	九―四	現代の国語 言語文化	答えはすべて解答用紙に書きなさい。
-----	-----	---------------	-------------------

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本人はなぜ靴をぬぐのか

あしはら よしのぶ
芦原義信

著作権承諾上の理由により、問題文の掲載はしていません。

二〇二六(令和八)年度 沖縄女子短期大学 一般選抜(C日程)(問題用紙)

枚 数	九―五	現代の国語 言語文化	答えはすべて解答用紙に書きなさい。
-----	-----	---------------	-------------------

c著作権承諾上の理由により、問題文の掲載はしていません。

二〇二六(令和八)年度 沖縄女子短期大学 一般選抜(C日程)(問題用紙)

枚数	九一六
現代の国語 言語文化	
答えはすべて解答用紙に書きなさい。	

第二問

問1 傍線部⑦～⑫の漢字の読みがなを書きなさい。

- ㊦ 抵抗感 ㊩ 傑作 ㊭ 相撲
㊧ 土俵 ㊪ 履きもの ㊮ 執着

問5

本文では、建築と気候風土の関係について筆者の考えが述べられています。次の1～5の中から筆者の考えと合っているものを全部選びなさい。

1 夏は高温多湿な日本の気候風土が「床の建築」を生んだ。

2 夏は高温多湿な日本の気候風土が可動式の床を持つ木造住宅を生んだ。

3 夏は高温多湿な日本の気候風土が地面より一段高くなつた床を持つ木造住宅を生んだ。

4 夏は高温でも湿度の低い西欧の気候風土が「壁の建築」を生んだ。

5 夏は高温で湿度の高い西欧の気候風土が石を一つずつ積み上げた重厚な壁の住宅を生んだ。

問2

空欄[A]～[F]にあてはまる語句を、

次の1～6の中から一つ選び、番号で答えなさい。
(重複選択不可)

- 1 それに対して 2 すなわち
3 なんと 4 たとえば
5 しかも 6 いったい

問3

傍線部㉑～㉒の語句を漢字で書きなさい。

- ㉑ ゲンカン ㉒ イクタ
㉓ キョウギ ㉔ イゾン
㉕ セイケツ ㉖ コウエキ

問6

靴をぬぐ習慣とぬがない習慣が日本と西欧それぞれにもたらした都市形成の考え方の違いを筆者はどのように述べていますか。それぞれ、まとめなさい。

問4

波線部①「理にかなう」とはどういう意味ですか。次の1～5の中から最も適切なものを一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 心がこもって気持ちが整う
2 思っていたことが現実になる
3 気持ちを理解し受け入れる
4 道理や筋道に合っている
5 理屈ではなく自然にできる

枚数	九 一 七
現代の国語 言語文化	
答えはすべて解答用紙に書きなさい。	

第三問 ゆり子さんは、「高齢者の運転免許返納」をテーマに資料を集めてレポートを書きました。【資料1】はオンライン新聞の記事を抜粋・編集したものです。

【資料2】【資料3】【資料4】は、ゆり子さんが集めたテーマに関する資料です。これらを読んで、後の問い(問1～3)に答えなさい。

資料 1

高齢者の運転免許返納にブレーキ、死亡事故は3年連続増加…バスや鉄道の廃止も影響

読売新聞オンライン 2024 (令和 6 年) /06/13

65歳以上の高齢者の事故防止対策として、警察が長年推奨してきた「運転免許の自主返納」が、2019年(令和元年)の57万件をピークに4年連続で減少している。バスなど公共交通網の衰退が続き、返納を勧めても買いい物や通院などでマイカーが必要だと訴える高齢者が多く、警察や自治体は近年、高齢者の安全運転支援にも力を入れるようになった。

～ 中略 ～

踏み間違いが多発

警察庁によると、175歳以上のドライバーによる死亡事故は昨年384件発生。3年連続の増加で、免許保有者10万人あたりの件数は75歳未満の約2倍に達する。ブレーキとアクセルの踏み間違いが多いという。

一方、65歳以上の免許自主返納の動きは鈍っている。警察や自治体は、運転経歴証明書によるバスやタクシーの割引制度などで返納を後押ししてきたが、東京・池袋で乗用車が暴走して2人が死亡した事故が起きた19年(令和元年)の57万5559件をピークに減少が続いている。

コロナ禍での外出自粛のほか、公共交通網の弱体化も影響しているとみられる。国土交通省によると、慢性的な赤字や人手不足で、全国の路線バスは08～22年度(平成20年～令和4年度)2万キロ以上が廃止。鉄道では00～23年(平成12年～令和5年)に46路線が廃止された。特に路線バスは廃業する事業者も出ている。

～ 中略 ～

運転能力「目に見える形で伝えて」

車の運転は「認知→判断→操作」の3要素で成り立ち、例えば、交差点では赤信号を「認知」し、停止の必要性を「判断」してブレーキを踏む「操作」を行う。ただ、高齢になると認知機能が低下して判断に遅れが生じる上、身体能力の低下で操作ミスが起きやすくなる。「長年運転してきた「自信」が「過信」につながりやすい。」

AI(人口知能)を活用して安全運転の研究をしている福岡国際医療福祉大の堀川悦夫教授(認知神経心理学)は「高齢者は、長年の運転で悪い癖が染みみついていることが多く、運転能力の低下に自分で気づきにくい」と指摘。長く安全運転を続けてもらうためには「運転能力を得点化するなど、目に見える形で伝えて改善を促すことが重要だ」と話している。

枚数	現代の国語 言語文化	答えはすべて解答用紙に書きなさい。
九一九		

第三問

問1 【資料1】の文章の下線部①～④の内容には、【資料2】の【資料4】の図や表によりデータが示されているものと、そうでないものがあります。このうち、【資料2】～【資料4】では読み取れないものを二つ選び、記号で答えなさい。

問2 【資料1】～【資料4】の文章や図、表の説明として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

- ①七十五歳以上高齢運転者による死亡件数はここ数年連続で増加している。
- ②六十五歳以上の運転免許自主返納件数は2019年をピークに減少している。
- ③公共交通機関の衰退やコロナ禍での外出自粛が運転免許返納減少の要因と思われる。
- ④自主返納をしようと思ったことのある運転継続者の7割は、返納をためらう理由として「車がないと生活が不便なこと」と回答している。
- ⑤七十五歳以上の高齢運転者の人口十万人あたりの死亡事故件数は増加傾向にある。

問3 ゆり子さんはレポートを書く前に次のア～オのメモを見直し【資料】を根拠としてまとめられているか確認をすることにしました。【凡例】に基づいて各文の内容の正誤を判断したとき、その組み合わせとして最も適当なものを後の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

【凡例】

正しい	・・・述べられている内容は、正しい。
誤っている	・・・述べられている内容は、誤っている。
判断できない	・・・述べられている内容の正誤について、【資料】から判断できない。

- ア 七十五歳以上高齢運転者による死亡件数はここ数年連続で増加している。
 - イ 六十五歳以上の運転免許自主返納件数は2019年から減少しているが、同年齢の運転免許保有者数も減少している。
 - ウ 公共交通網の衰退に伴い、生活にマイカーが必要と訴える高齢者もあり、各都道府県独自での高齢者運転対策が取られている。
 - エ 免許保持者10万人あたりの死亡事故件数を75歳以上と未満で比較すると75歳以上の死亡件数が約2倍となっている。
 - オ 六十五歳以上高齢運転者による事故の傾向として、日中より、夜間に発生率が高い。また、逆走運転も75歳以上の高齢運転者の事故件数が増加している。
-
- ① ア 正しい
イ 判断できない
ウ 誤っている
エ 正しい
オ 判断できない
 - ② ア 誤っている
イ 正しい
ウ 判断できない
エ 正しい
オ 誤っている
 - ③ ア 正しい
イ 誤っている
ウ 判断できない
エ 正しい
オ 判断できない
 - ④ ア 誤っている
イ 正しい
ウ 誤っている
エ 判断できない
オ 正しい
 - ⑤ ア 正しい
イ 誤っている
ウ 正しい
エ 判断できない
オ 正しい

評点 ※	
現代の国語 言語文化	
受験番号	
氏名	学科
第一志望 学科コース	コース

第一問

問1	⑤	⑦
	そんちよう	いしそつう
	⑩	①
	きゆうかく	ほんやくき
	⑥	④
	そな (わる)	かんさつ

問2	A	3	B	2	C	5	D	4	E	1
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問3	④	②
	判別	布団
	⑨	③
	配慮	即座
	⑦	①
	惑 (わす)	変換

問4	①	2	②	3
----	---	---	---	---

問5	鳴き声の響きは違っても、共に群れをなし、寄り添って生活するうちに、互いに言葉とその意味を学習している点
----	---

問6	エ
----	---

第二問

問1	③	⑦
	どひよう	ていこうかん
	⑩	①
	は (きもの)	けつさく
	⑥	④
	しゅうちやく	すもう

問2	A	3	B	6	C	1	D	5	E	2	F	4
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問3	④	②
	依存	玄関
	⑨	③
	清潔	幾多
	⑦	①
	公益	競技

問4	4	
問5	1・3・4	
問6	西欧	日本
	（例）靴を脱いで家に入る日本では、私的な内的秩序が優先され、「床」という平面的な秩序への執着が、土地所有という私権が公益に優先しがちな都市形成の考え方を発展させた。	（例）家の外でも内でも同じような履きものによって生活を営む西欧では、家の内部と外部が同一視され、それが公益を優先する都市の全体発想や街並みの統一などがった。

(完答)

第三問

問1	エ	オ
----	---	---

問2	⑤
----	---

問3	③
----	---